

平成 28 年度

宮 田 村 教 育 委 員 会 9 月 定 例 会 々 議 録

1 開催日時：平成 28 年 9 月 29 日(木) 13：30～15：35

2 開催場所：宮田村民会館 第 1 研修室

3 出席委員

- (1) 篠田 秀児 委員長（以下「委員長」と表記。）
- (2) 池上 由美子 委員長職務代理者（以下「職務代理」と表記。）
- (3) 鷹野 綾子 委員（以下「鷹野委員」と表記。）
- (4) 古藤 祐巳子 委員（以下「古藤委員」と表記。）
- (5) 平澤 武司 教育長（以下「教育長」と表記。）

4 欠席委員：なし

5 その他、会議に出席した者の氏名

- (1) 本田 秀樹 教育次長（以下「次長」と表記。）
- (2) 北原 敦 学校教育係長（以下「学校係長」と表記。）
- (3) 平澤 義章 子育て支援係長（以下「子育て係長」と表記。）
- (4) 酒井 秀貴 生涯学習係長（以下「生涯係長」と表記。）

6 教育委員長あいさつ

委員長：昨日の小学校主幹指導主事学校訪問では、みなさんご苦労さまでした。5、6年生の授業を見たが、かなり高度なことをやっていた。先生の力量を問われる場面がたくさんあると感じた。私の同年生で、進学校でなく職業高校を出た人も含め博士になった人が3人いる。小中学校の段階で子供たちがどう育つかが大事と感じた。

本日はこの後、総合教育会議で子育て5か条などについて話し合う。教育について根本的に我々がどう考えるか問われる場面になる。真摯な話し合いをよろしくお願いします。

教育長：池上さんが教育委員会を退任される。4年間にわたり教育だけでなく村の発展のためにも力添えを賜り、ありがとうございました。池上さんにご挨拶願ひ、古藤さんにも新たな決意を述べていただきたい。

職務代理：皆さん、4年間お世話になりました。何もわからないまま、思ったことをストレートに発言したことも多々あったと思う。ひとえに子供たちがすくすくと伸びやかに育つには、という視点から述べさせていただいた。ものの見方はいろいろあると感じる機会が多かった。教育委員会の仕事にかかわらなければ行かないところへも研修に行き、自分の人生において糧になることがたくさんあった。ありがとうございました。

古藤委員：引き続き、教育委員として関わらせていただくことになりました。はじめの2年間は何も分からず、会議に出ても何を言っているのだろうということを発言していたと思うが、今後も保護者の立場として勉強し皆さんに教えてもらいながら務めさせていただきたい。よろしくお願いします。

教 育 長：教育委員会は行政の他部門と違い、レーマンコントロールといって住民目線でチェックし、ご意見を行政に反映する。それぞれの方にそれぞれの立場で意見を言っていただくことが大事で、みんなで作っていくもの。後任は北割の伊藤さんで、新しい視野で提言いただけると思う。よろしくお願いします。

## 7 会議録の承認 8月定例会（事前配布）

## 8 議 題

### (1)報 告

報告1号 教育委員会活動報告について 9月 (1ページ)

次 長：資料について説明

報告2号 上伊那社会教育関係者懇談会について (2ページ)

次 長：資料について説明

教 育 長：11/11の上伊那社会教育関係者懇談会のあと、村に帰って村の社会教育委員の皆さんと懇親会を開くので都合をつけておいてほしい。

委 員 長：よろしいですか。

委 員：はい。

報告3号 南部市町村教育委員会連絡協議会研修視察について (10～11ページ)

次 長：資料について説明

委 員 長：よろしいですか。

委 員：はい。

報告4号 第60回長野県市町村教育委員会研修総会について (12～13ページ)

次 長：資料について説明

委 員 長：よろしいですか。

委 員：はい。

## 9 その他

(1)当面の日程について 9～10月 (14ページ)

次 長：資料について説明

委 員 長：よろしいですか。

委員：はい。

(2) 長野県女性教育委員連絡協議会中南信ブロック研修会 (15～16 ページ)

次 長：資料について説明

古藤さんに、調整をお願いします。

古藤委員：はい。

(3) 保育園待機園児の状況について (17 ページ)

子育係長：資料について説明

保育園では例年 10 月に入園の説明会を行っている。本来、年度途中で入る未満児については 10 月に手続してもらうことになっているが浸透しておらず、現在、年度途中で申し込みされた 20 名の方に入園を待っていただいている状況。それでも表のとおり、ほとんどの方は本年度中の入園が決まっている。入園時期が未定の方についても対応していく。西保育園では未満児の受け入れは、原則として兄弟が西保育園に入っている場合のみとしていたが、今年に限って西保育園に 2 歳児の教室を一つ作り、兄弟が西にいない人も入ってもらうようにした。西保育園に入ってもらえるか、それぞれに確認している。結果的に兄弟で東西に分かれる人もいるが、こだわらない人もいる。

職務代理：行政からすると 4 月区切りだから 10 月の説明会で申し込んで欲しいというのはよくわかるが、通常、1 年以上先のことは想像しにくい。第 3 子の保育料が無料になったことで、働こうという気持ちがおこる。第 2 子も無料になったら大変なことになる。今後、年度途中から入りたい人が増えると思うので、受け皿を整備しておく必要があるのではないか。行政は、住民の希望に沿うというスタンスなのか、それとも希望に沿うのは無理というスタンスなのか。住民側には「3 子以上は無料と掲げる以上は・・・」という気持ちもある。行政サイドの調整の難しさは分かるが、今後のことも含めて考えていただきたい。

子育係長：施設面では受け入れられるが、募集をかけていてもなかなか保育士が確保できない。来年 4 月まで産休予定の職員が 11 月に復帰を早めてくれたことで、受け入れ可能になった。

委員 長：これまで、「保育士が足りないので募集をしているが集まらない。それは給与が低いからで、村長部局に話をして賃金を高くしてもらい、保育士を確保しないと大変だ」と聞いていたが、今回の話では回せば何とかなるのか。

次 長：保育士資格のない介護士にまで範囲を広げ募集していても集まらないのが実情。パート保育士からは長年働いても賃金が変わらず張り合いがない、10 円でもいいから上げてくれと賃金、条件の改善を要望が出ている。他市町村と比べると他所がいいという声もある。

委員 長：無資格の人を入れることには懸念がある。いい人ばかりだとは思いますが、事故があった場合を考えておく必要がある。

職務代理：募集しても集まらない理由について調査されたか。

教育 長：今働いている保育園の先生にアンケート調査をしたら、宮田は給与が上がらないことが上がっていた。

職務代理：短大から新卒をとるのはどうか。

教育長：正規採用でないと若い人は応募しない。一人公務員を雇うと生涯賃金は3億円かかる。正規職員は採用できないので、臨時で、例えば5年任期付きで賃金を高くし退職金も払うなどの制度も考えられる。

委員長：子育て日本一を謳うならそこからお金をかけなければ無理だ。

古藤委員：保育士さんの資格を持っている人をたくさん知っているが、正規職員でなければ他所で正規で働きたいという方が多い。資格を持っていても使えないのが現状。

鷹野委員：都会での話だが、経済的に働く必要のない若いお母さんが、子供を一人で見るのが大変だから、給料のほとんどを保育料に支払ってでも働きたいという人がいると聞く。いずれ宮田もそうなるかもしれない。

子育て係長：伊那市と駒ヶ根市は途中入園を受け付けないので、4月から全員入園を受け入れられる。

職務代理：宮田村は中途半端なので期待する。「途中入園は無理です」とスパッと説明会で言ってもらえれば、それなりに計画を立てて考える。受け入れが無理であれば、線引きを明確にしないと自分の首を絞めることになると思う

鷹野委員：子育て日本一を掲げる村長にすればそれはできないことかもしれないが、現実問題としてできないのであればしょうがないのではないか。多世代で住んでいても、今はおばあさんも働くので孫を見てあげられず、ひいおばあさんが保育園のお迎えに行くと聞く。

委員長：みんな働けというなら、制度が整っていなければいけない。

教育長：これまで待機児童はほとんどなかった。これほど待たせるのは良くないことと捉え、今日の総合教育会議で現状を知ってもらおう。こんなに待たせていては行政の怠慢といわれる。解決策として職員の配置を見直し、休職中の人に復帰を早めてもらい、無免許の人を何人か入れてかろうじて運営している。窮余の策で、教育委員会事務局の職員まで現場に行っている。今後待遇改善しないと待機児童が増える。保育士確保のため至急何らかの手を打たないと課題が出てくる、と総合教育会議で訴えられる資料が必要。

委員長：そういう現状ということでよろしいですか。

委員：はい。

#### (4) 小学校特別支援学級の状況について (口頭)

学校係長：9/26の校長会で来年度の学級数と特別支援学級の人数について話し合った。中学校は通常級が各学年3クラス全部で9クラス、支援学級は2クラスで今年度と同じ。小学校は通常級は各学年3クラス全部で18クラス、特別支援の知的障がい者が10名で一クラス増えて2クラス、情緒障がい者が23名で3クラス。今年はクラスが増えたことで支援員を増員する。新1年生は81名で、1対1の対応が必要な児童が1名の予定。

教育長：課題を抱えるお子さんが増える傾向にある。9名を超えると一クラス増となる。県から一人担任が来るが、村で支援員を一人配置する必要がある。また、1対1の対応が必要な児童にはもう一人支援員が必要になる。障がいを持つ子供の保護者にとっては養護学校に対する思いがあり、保護者の大変なショックはよくわかるが、子供の将来や自立のことを

考え養護学校の話をしている。

委員長：外部のアドバイザー的な立場の人はいるのか。

教育長：就園就学委員会が対応しているが、最終的には保護者が決めること。

委員長：よろしいですか。

委員：はい。

(5)その他 (18～21 ページ)

(成人式について)

生涯係長：成人式について説明

アンケートを回収したが、新成人 2 枚と来賓 9 枚で 11 枚と少ない。アンケートの回収率を上げるために、今後は SNS を利用するなど検討したい。

鷹野委員：去年、私は卒業生だけでなくみんなが知っている宮田村の歌「心を込めていつまでも」を歌ってはどうかと言ったが、卒業生しか知らない歌「あめつちとともに」になっていたのも、敢えて歌わなくてもいいような気がする。

生涯係長：歌は実行委員の意向で決まった。成人は「心を込めていつまでも」を知らない。

職務代理：出席者は宮田中学校の卒業生しかいないのなら、実質同窓会だと思う。「心を込めていつまでも」や「あめつちとともに」より校歌のほうがみんな歌える。

古藤委員：今年の成人式はまとまっていて見やすかった。進行もとても上手で、実行委員の頑張りが感じられる良い成人式だった。

鷹野委員：「来賓が多すぎるのでは」という意見はどうでしょう？

教育長：実は来る方も大変なので、減らせるものは減らしてはどうか。

職務代理：回覧板に「皆さんでお祝いを」と案内があるので、招待されなくても一般の人が参加できることは浸透している。

生涯係長：来年度、実行委員と検討する。

委員長：今年の成人式は係の人がよくやってくれていると感じた。ご苦労様でした。事務局が表に立つのではなく、新成人の力を活かしてやってもらうのがとても大事だと思った。

(体育センター耐震工事について)

生涯係長：体育センターの進捗状況について資料により説明

委員長：耐震について、震度いくつまで耐えられるのか。

生涯係長：東海地震を想定していて、震度 6 まで耐えられることになっている。県の建築士協会の耐震判定会で判断され、それに基づいている。学校も役場も同じ。

(宮田村子育て 5 か条について)

次長：資料について説明

今日の総合教育会議では、①教育大綱の経過について、毎年検証してやっていきたい。② 5 か条の経過、見直しアンケートの結果についての二つについて述べる。

アンケートは 30 代 40 代の 449 人に回答いただいた。5 か条は必要だが、詳しく知らないのもっと PR してほしいという意見が多かった。これから検討を重ね、多くの皆さんの

意見を聞きながら作っていききたい。

教 育 長：子育て5か条は家庭の協力なくしてありえない。若いお母さんから高齢の方までいろいろな方のご意見を聞きながら住民の皆さんと協働して取り組む。教育大綱は行政が決め、5か条は住民みんなで作る。毎日の家庭生活に活かせるものを作りたい。3月くらいまでにできればいいと思う。

職務代理：資料を用意した。仏教伝道協会から出ている本『ブッダがせんせい』で、子供向けのヒントが書いてある。子育て5か条に通じるような内容になっていると思う。参考にご覧いただければと思う。学校に掲示している避難訓練の「おかしも」のように、折句で作ると覚えやすい。先に頭の文字を決めて作るのはどうか。すぐに思い出せなければ実行できない。

古藤委員：キャッチフレーズ「うちの子よその子宮田の子」は覚えやすい。子供たちの耳に残るものなら大人の耳にも残る。5条では多い。あれもこれも入れたいのは分かるが、第一に浸透しないといけない。

委 員 長：郷土愛を強制するのは良くない。愛したくなるようにしなければ。今日は途中経過を報告するという事によろしいでしょうか。

委 員：はい。

委 員 長：本日はお疲れ様でした。

・次回定例会：10月20日(木) 13時30分 第1研修室